

# 嘉瀬川水系流域治水協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることにに関する令和6年度の取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 連携活動

- 一般の方が参加する説明会等においてダム模型を使用して役割、効果及び必要性を説明(1回)
- 報道機関との防災情報勉強会において、避難判断等に必要の情報発信サイトの紹介を実施(1回)

### 流域治水の広報

- 広報誌で水害・土砂災害に関する啓発活動を実施(全市、1回)

### リスク情報等の提供

- 総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップのHP公開、防災情報の周知(全市)
- 避難場所や経路等に関する情報の周知(気象・防災情報の提供)
- 緊急速報メールやLアラート等を活用して市民へ情報提供

### 教育活動

- 地域の防災力向上に向けて自主防災組織の研修会実施(1回)
- マイ・タイムラインの作成支援(1回)
- 分かりやすい教材(防災カルタ)を用いた防災教育(1回)

### 訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施(1回)
- 総合水防演習(1回)
- 広報誌によるハザードマップの周知の取組

### 水防活動の支援

- 災害時の応援協定

### 水災害対策の支援

- 出水期前に希望する市民への土のうの事前配布

### 計画策定

- 立地適正化計画の推進(小城市、佐賀市)
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<b>① 知る機会を増やす</b> <b>◎水災害、流域治水の広報</b>   地域   個人   企業・団体   <b>◎連携活動</b>   地域   個人	広報誌で水害・ 土砂災害を啓発	報道機関との防災情報勉強会において、避難判断等に必要な情報発信サイトの紹介を実施	一般の方が参加する説明会等においてダム模型を使用して役割、効果及び必要性を説明	
<b>② 自分事と捉えることを促す</b> <b>◎リスク情報等の提供</b>   地域   個人   企業・団体   <b>◎教育活動</b>   地域   個人   <b>◎訓練活動</b>   地域   個人	自主防災組織の研修会 総合水防演習	総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップのHP公開、防災情報の周知 避難場所や経路等に関する情報の周知（気象・防災情報の提供）	分かりやすい教材（防災カルタ）を用いた防災教育 マイ・タイムラインの作成支援 住民参加型の避難訓練	広報誌によるハザードマップの周知の取組
<b>③ 行動を誘発する</b> <b>◎計画策定</b>   地域   個人   企業・団体   <b>◎水災害対策の支援</b>   個人   <b>◎水防活動の支援</b>   地域   個人   企業・団体	市民への土のうの事前配布	立地適正化計画の推進 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進 災害時の応援協定		

# 松浦川水系流域治水協議会

計画: 「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることにに関する令和6年度の取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

### 連携活動

- 一般の方が参加する説明会等においてダム模型を使用して役割、効果及び必要性を説明(1回)
- 報道機関との防災情報勉強会において、避難判断等に必要な情報発信サイトの紹介を実施(1回)
- 住民や関係機関等と厳木ダムの操作等について説明し、情報提供や防災行動について意見交換を実施(1回)

### 教育活動

- 地域の防災力向上に向けて自主防災組織や自治会との意見交換会(1回)実施
- 防災リーダーの知識や技術の向上のため、フォローアップ講座を実施(4回)
- 分かりやすい教材(防災カルタ)を用いた防災教育(1回)
- マイ・タイムラインの作成支援、防災講話(1回)

### 訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施(1回)
- 総合水防演習(1回)
- 広報誌によるハザードマップの周知の取組

### 水防活動の支援

- 災害時の応援協定

### 流域治水の広報

- 広報誌で水害・土砂災害に関する啓発活動を実施(全市、1回)

### リスク情報等の提供

- 総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップのHP公開、防災情報の周知(全市)
- 避難場所や経路等に関する情報の周知(気象・防災情報の提供)
- 緊急速報メールやLアラート等を活用して市民へ情報提供

### 計画策定

- 立地適正化計画の作成・検討(伊万里市、唐津市)
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>①知る機会を増やす</p> <p>◎水災害、流域治水の広報   地域   個人   企業・団体  </p> <p>◎連携活動   地域   個人  </p>	<p>● 広報誌で水害・土砂災害を啓発</p>	<p>● 報道機関との防災情報勉強会において、避難判断等に必要な情報発信サイトの紹介を実施</p>	<p>● 一般の方が参加する説明会等においてダム模型を使用して役割、効果及び必要性を説明（1回）</p> <p>● 住民や関係機関等と厳木ダムの操作等について説明し、情報提供や防災行動について意見交換</p>	
<p>②自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供   地域   個人   企業・団体  </p> <p>◎教育活動   地域   個人  </p> <p>◎訓練活動   地域   個人  </p>	<p>● 自主防災組織や自治会との意見交換会</p> <p>● 総合水防演習</p>	<p>● 分かりやすい教材（防災カルタ）を用いた防災教育</p> <p>● マイ・タイムラインの作成支援、防災講話</p> <p>● 防災リーダーの知識や技術の向上のためのフォローアップ講座</p>	<p>● 住民参加型の避難訓練</p>	<p>総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップのHP公開、防災情報の周知</p> <p>避難場所や経路等に関する情報の周知（気象・防災情報の提供）</p> <p>広報誌によるハザードマップの周知の取組</p>
<p>③行動を誘発する</p> <p>◎計画策定   地域   個人   企業・団体  </p> <p>◎水災害対策の支援   個人  </p> <p>◎水防活動の支援   地域   個人   企業・団体  </p>	<p>立地適正化計画の作成・検討</p> <p>要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進</p> <p>災害時の応援協定</p>			